

大学の世界展開力強化事業

～COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援～ 【新規】

資料5

(文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室)

平成30年度予算額 2億7,000万円

事業概要・目的

- オンライン国際協働学習(COIL※)を通じて、日米の学生が共通のテーマについて討議を深める等の双方向の交流機会を拡大。
※COIL (Collaborative Online International Learning) :
オンラインを活用した国際的な双方向の教育手法
- 米国側プラットフォーム(米国教育協議会(ACE))と日本側プラットフォーム(今後選定)が連携し、プログラム構築等を支援。
- 日本側では合計21件の申請があり、今後厳正な審査を経て、本年8月に最大10件程度選定。

期待される効果

- COILは、オンラインを活用することから、大学の立地や規模による制約が少ないため、より効率的に多くの日米学生に対して国際的な教育を提供できる。
(米国側でも本構想について、多くの大学生に国際的な経験を提供するという目的が認識されている。)
- COILを留学の事前・事後に組み合わせることで、①これまで留学に関心がなかった学生層にも国際的な教育を拡大、②日米学生の留学に対する興味を喚起し、相互の留学数を増大、③留学後の継続的な日米学生間ネットワークの構築と留学効果の増大・持続、といった効果を期待。

事業イメージ・具体例

- 大学間協定を締結した海外連携大学との間で、COIL型教育を活用した、質の高い先導的な国際教育プログラムの開発・実施を行う我が国の大学を文部科学省が支援。
- 例)
- ・COILによる共同授業プログラムやオンライン教材の開発費
 - ・COILのために開発したプログラム・教材を共有するためのプラットフォームの管理・運営費
 - ・COILと連携して実施する交換留学のための費用

